先端医学研究推進支援センター

分子生命科学支援グループ

総 説

1 [○]出原賢治, 布村 聡, 南里康弘, 本田裕子: アレルギー疾患におけるプレシジョン・メディシンを 目指した取り組み. 日本臨床検査医学会誌. 72(8): 677-682, 2024, 8.

学会発表

国際規模の学会

1 Yuko Honda, Satoshi Nunomura, Yasuhiro Nanri, Mao kodera, Hiroki Matushara, Katsuyo Ohashi-Doi, Kenji Izuhara: Effects of topical JAK inhibitor on skin inflammation and itching in FADS mouse. EAACI Congress 2024. 2024, 5, 31-6, 3.

国内全国規模の学会

- 1 本田裕子, 布村 聡, 南里康弘, 大澤ひかる, 田中友佳子, 小寺真央, 松原弘季, 土井雅津代, 出原賢治:アトピー性皮膚炎モデルマウスに対するデルゴシチニブの作用機序解析. 第73回日本アレルギー学会学術大会. 2024, 10, 18-20.
- 2 $^{\circ}$ 布村 聡, 南里康弘, 本田裕子, 武富啓展, 北島 勲, 松田 彰, 出原賢治: アトピー性角結膜炎 モデルマウスにおけるペリオスチンの役割と α \vee β 3インテグリン阻害剤の効果. 第73回日本アレルギー学会学術大会. 2024. 10. 18–20.
- 3 [○]大澤ひかる,田中友佳子,布村 聡,本田裕子,南里康弘,小寺真央,松原弘季,土井雅津代,出原賢治:アトピー性皮膚炎モデルマウスに対するステロイド薬の作用についての検討.第73回日本アレルギー学会学術大会、2024、10、18-20。
- 4 [○]田中友佳子,大澤ひかる,布村 聡,本田裕子,南里康弘,小寺真央,松原弘季,土井雅津代,出原賢治:アトピー性皮膚炎モデルマウスにおけるペリオスチン非依存性の炎症とそう痒の解析.第73回日本アレルギー学会学術大会.2024,10,18-20.

地方規模の学会

1 本田裕子,布村 聡,南里康弘,小寺真央,松原弘季,土井雅津代,出原賢治:アトピー性皮膚炎 モデルマウスを用いたデルゴシチニブの作用機序解析.第6回日本アレルギー学会 九州・沖縄支 部地方会.2024, 2,17.

研究助成等

職名	氏	名	補助金(研究助成) 等の名称	種	I	1 : 代表 2 : 分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教務員	本田	裕子	科学研究費補助金助 成事業	基盤研	究(B)	2	2型炎症メディエーターによるアトピー性皮膚炎における 痒みのネットワークの解明	100
教務員	本田	裕子	科学研究費補助金助 成事業	基盤研	究(C)	2	全身性強皮症における SOX11を基軸とした新規線 維化機序の解明と新たな治療 戦略の構築	50

学術 (学会) 賞

職名	氏	名	学術(学会)賞名	受 賞 課 題
教務員	本田	裕子	EAACI Congress 2024 Abstract Prize	Effects of topical JAK inhibitor on skin inflammation and itching in FADS mouse